

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 第4回サービス向上部会

開催日時 令和4年1月31日(木)10:00~11:00

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課、ながでんハートネット中野ポルカ、ながでんハートネットメゾふおるて、こどもプラス信州中野教室、中野市社協指定訪問介護事業所、中野市障がい児者相談支援事業所ふたば、グループホーム青りんご、いこいの里、ケアホーム希望、北信圏域障害者生活支援センター、総合安心センターはるかぜ、飯山市社協ヘルパーステーションゆきつばき、未来工房つむぎ、きぼう、木島平村社協指定訪問介護事業所、栄村社協指定訪問介護事業所、北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

①他部会の活動報告 ②研修会振り返り ③相談支援専門員より ④今年度の振り返りと来年度に向けて ⑤その他

会議で話し合われた事

1. 各部会の活動状況

- ・精神部会では、ピアサポーターに関する研修会「上小圏域におけるピアサポーター研修について」をビデオ視聴形式で実施。意見などを出し合い、今後の取り組みに繋げていく。
- ・本人中心部会では、当事者にもわかりやすい情報発信について検討。中野市社会福祉協議会で発行されている社報でも工夫をお願いできないか、相談に伺っている
- ・地域生活支援拠点等事業検討会では、同社大学 立木教授を講師に、研修会「福祉と防災」を開催。(YouTube 配信・期間終了)
- ・第3回自立支援協議会(本会)を2/22開催予定。

2. 研修会振り返り

	開催日	テーマ	講師	参加者数
第1回	11/2(火) Zoom開催 YouTube配信期間 11/11~12/20	“怒り”の理解と対応 ~利用者の怒りへの対応と支援者 自身のアンガーマネジメント~	北信圏域障害者総合相談支援センター 臨床心理士 邊田卓馬氏	当日30名 YouTube視聴回数 131回
第2回	1/7(金) 集合(飯山庁舎) 今後YouTube配信	発達障がいとは ~障がい理解キホンのキ~	日本相談支援専門員協会 顧問 福岡寿氏	当日39名

○第1回

- ・講義はわかりやすく、日々の支援に活かせる内容で好評だった。

○第2回

- ・久々の集合形式の研修会で好評の声をいただいた。
- ・後日、YouTube配信予定。

3. 相談支援専門員より(ながでんハートネット カラーズ 富井相談員)

北信圏域には、5か所の放課後等デイサービスの事業所があるが、新規の問い合わせが増えており、受け入れの厳しい実態がある。その背景として、普通学校のお子さんが児童クラブでうまく過ごせず、放課後等デイサービスへ繋がるが増えているということがある。今後、放課後等デイサービスの事業所と児童クラブの連携について、当部会の児童発達支援ネットワークと協力して考えていきたい。

4. 今年度の振り返りと来年度に向けて（グループで検討後、全体共有）

別紙参照

5. その他

令和3年度サービス向上部会 今年度の振り返りと来年度に向けて

	ヘルパー	暮らしの場	キッズねっと
①部会のテーマ R3年度は「つながる」	コロナで繋がりがつらい1年だったため、改めてその必要性を確かめていく機会となり、良かった。引き続き、同じテーマを継続で良いのでは。	継続でも良い、という声と、そろそろ変えても良いのでは、という両方の声があった。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマがあるとそれに沿って活動できて良い。 ・つながったので、「広げる」「共有」などに発展していても良いのでは。
②部会と研修会について	<ul style="list-style-type: none"> ・部会、研修会とも頻度はちやうど良かったです。感染状況を踏まえて、対面・WEBと対応して行って頂けたので、次年度もそのようにできると良い。 ・YouTubeで研修会が視聴できたのは良かった。空いている時間に見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも活動を止めずにできて良かった。対面とオンラインの両方を活用していけると良い。 ・YouTubeの配信期間が長い方が良いという意見と、限られた期間だからこそ見るといった意見があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部会4回+研修会2回で充実していた。これ以上多いと参加が難しい。 ・研修会はYouTubeで見られて良かった。 ・“基本のキ”の研修会をどんどんやっていると良い。
③グループでの課題検討で見えた地域課題	ケースによっては支援者を固定しがちであり、視点のおき方(視野が狭まらないため)の確認が必要であるため、他事業所の意見が聞けたことで気づきや違う考え方ができた。	GH等で暮らしている人から「働きたい」と声があった時の資源の活用について。事業所の一覧などと相談する時に便利。	<ul style="list-style-type: none"> ・放デイのニーズが多く、空きがない。(地域の偏り、ニーズの幅広さ、児童クラブとの連携、放デイからの卒業) ・年齢や成長にあわせた支援をしていきたい。
④他部会と状況共有・意見交換したい事	次年度から身体拘束等適正化委員会などが義務化となり、より厳密になってくる事も想定されるため、改めて現場での支援状況と権利擁護の視点を交えた勉強会を権利擁護部会と行えると良い。	以前、他部会で日中活動の場の見学ツアーを企画していただいたことがあったが、気軽に参加でき、複数の事業所を見学できてとても良かったので、またそういった機会があると良い。	児童クラブの現状や、連携等について情報共有できると良い。
⑤次年度のリーダー・サブリーダー	山ノ内町と木島平村が当番の年だが、詳細は今後決める。	リーダーはのぞみの郷高社 サブリーダーは未定	リーダーはコンパス(やまとSC) サブリーダーは未定